

化学物質と環境に関する政策対話について

平成30年8月8日

環境省 大臣官房環境保健部
環境安全課

化学物質と環境に関する政策対話

- ◆ 2001年度から2010年度までに合計26回開催された「**化学物質と環境円卓会議**」を発展的に解消し、国民、事業者、行政、学識経験者等の様々な主体が参加した意見交換、合意形成を目指す場として、「化学物質と環境に関する政策対話」を2012年3月に設置（これまで合計13回の会合を開催）。
- ◆ 参加メンバーから提起される議題等について意見交換を行い、化学物質に関する国民の安全・安心の確保に向けた政策提言を目指すこととしている。
- ◆ 各主体の関係者が化学物質のリスクに係る理解を共有し、それぞれの役割を果たしながら信頼関係を高めていくことを目的としたリスクコミュニケーションとしての役割も担っていることから、多様なテーマが取り扱われている。



「化学物質と環境リスクに関する理解力の向上とその取組に向けて」について

◆「化学物質と環境に関する政策対話」は、これまで13回開催されてきており、これまでの議論について取りまとめを行った。

1. 化学物質と環境リスクに関する理解力を身に付けることの重要性
2. 様々な世代・主体の参加
3. 行政、事業者、教育機関、市民、及び主体間連携による取組
4. 将来に向けた視点